

中期経営計画サステナビリティ編Phase2(2025年～2027年)(抜粋)

重要課題1

森林経営による「森」と「木」の価値向上

13気候変動に具体的な対策を

15陸の豊かさも守ろう

「森」を育てることで、「木」をはじめとする森林資源の価値を高め、引き出す

I 課題・戦略に基づく具体策／評価指標(数値目標)

I 持続可能な森林資源の活用

		2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
国内外の森林認証面積(ha)		346,152	420,152	451,152	資源環境事業本部
国内外森林認証面積の維持(%)	SGEC認証面積の維持	100	100	100	
	社有林における環境林割合確保	30以上	30以上	30以上	
苗木供給本数 国内森林(万本)		168	185	207	木材建材事業本部
国産材取扱量(千m ³)		2,798	3,205	3,553	
再造林事業(ha)		600	800	1,000	

I 自然関連課題への対応

生態系モニタリングの実施及び改善 [HCVF ^{※1} エリアにおける動植物モニタリング (国内社有林、海外植林エリア)]		実施・報告・開示	改善・充実	数値目標設定	資源環境事業本部
生態系サービスの定量評価(国内外における水収支評価)		立案・実施	実施	実施	建築・不動産事業本部
Nature/植物	引渡住宅区画への在来種の植樹本数(本)(北米)	4,200	4,300	4,700	
	森林財団を通じた植樹本数(本)(北米)	98,000	113,000	138,000	
Nature/水	分譲地のXeriscaping ^{※2} 実施率(%)	100	100	100	
	環境認証の取得件数(アジア)(件)	1	1	2	
ハーモニックプランツ販売数(本) ※対象樹木:高木・中木・低木		1,400,000	1,500,000	1,600,000	住宅事業本部

※1 High Conservation Value Forestsの略。保護価値の高い森林 ※2 適切な水の使い方により、水を節約しながら景観を維持する造園手法

※1 High Conservation Value Forestsの略。保護価値の高い森林 ※2 適切な水の使い方により、水を節約しながら景觀を維持する造園手法

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

13

13

13

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

7

7

13

13

</

※1 FLAG:森林・土地及び農業 ※ BIOS:ビナ・オヴィヴィパル・セメスタ

重要課題3 「森」と「木」を活かしたサーキュラーバイオエコノミーの実現

自然のエコシステムで再生可能な「木」という「森林」由来の素材の強みを活かしながら、あらゆる資源が循環する社会を実現する

┃課題・戦略に基づく具体策／評価指標（数値目標）

┃産業廃棄物の削減・リサイクル	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
産業廃棄物最終処分量(t)	21,213	21,735	21,018	サステナビリティ推進部
2023年度比削減率(%)	▲7%	▲9%	▲12%	
新築系産業廃棄物排出量(戸建のみ)(kg/m ²)	19.2	19.0	18.8	
新築系産業廃棄物リサイクル率(%)	96.3	96.6	96.8	住宅事業本部
住宅解体現場におけるリサイクル率(%)	100	100	100	
リフォーム現場におけるリサイクル率(%)	85.5	85.5	85.5	
発電事業におけるリサイクル率(%)	97.0	97.5	97.5	資源環境事業本部
海外製造工場におけるリサイクル率(%)	99.0	99.0	99.0	木材建材事業本部
国内製造工場におけるリサイクル率(%)	99.6	99.6	99.6	

┃水使用量の削減

水使用量(m ³)		2,971,001	2,972,632	2,989,957	全社
水使用量：原単位(m ³)	売上高当たりの取水量(m ³ /百万円)	1.22	1.09	0.98	
Nature/水	引渡住戸のZero Energy Ready Home認証割合(%) (北米)	100	100	100	建築・不動産事業本部
	水回り設備のWater Sense 認定割合(%) (北米)	100	100	100	
新築住宅節水トイレ ※導入率(設定品のみ)(%)	戸建	100	100	100	住宅事業本部
	分譲	100	100	100	

┃サプライチェーン管理

新築戸建注文住宅における持続可能な木材使用比率(%) (主要構造材)		100	100	100	住宅事業本部
サステナビリティ 調達調査実施率	温室効果ガス排出量を 把握している企業(%)	38.0	39.0	40.0	木材建材事業本部
	温室効果ガス排出量削減計画を 策定している企業(%)	27.0	28.0	30.0	
	【新築戸建住宅】サプライヤーの 温室効果ガス排出量の把握割合	前年より改善	前年より改善	前年より改善	住宅事業本部
	【新築戸建住宅】サプライヤーの温室 効果ガス排出量削減計画の策定割合	前年より改善	前年より改善	前年より改善	

※ JIS区分Ⅱ形(洗浄水量6.5L)以下

重要課題4 広く社会に快適でぬくもりある空間の提供

広く社会に対して、安心・安全で、快適さとぬくもりのある空間を提供する

┃課題・戦略に基づく具体策／評価指標（数値目標）

┃お客様満足向上	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
入居時アンケート(単体NPS値)(pt)	56.0	57.0	58.0	住宅事業本部

┃少子高齢化への対応

介護施設の提供居室数(室)		1,882	1,882	1,943	生活サービス本部
介護施設の入居率(%)	スミリンフィルケア	89.9	94.0	94.0	
	スミリンケアライフ	87.0	89.0	90.0	



重要課題5 事業を営む地域の人々の暮らしの向上

事業によって雇用を生み出すとともに、コミュニティの発展に貢献する

┃課題・戦略に基づく具体策／評価指標（数値目標）

┃地域社会とのコミュニケーション	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
管理緑地の企業との地域住民とのコミュニケーション協力体制 (環境コンサル数)	25	30	35	住宅事業本部
環境教育プログラムの実施(インドネシア)(学校数)	22	22	22	資源環境事業本部
社外環境学習提供人数(国内)(名)	4,220	4,200	4,250	サステナビリティ推進部
社会貢献活動参加者数(国内)(名)	1,850	1,900	1,950	

┃人権

人権リスクマップの見直しとそれに基づく再アセスメント	-	-	再アセスメント	サステナビリティ推進部
グリーバンスメカニズムの構築	再確認	構築	実行	

重要課題6 働く人が生き生きできる環境づくり

サプライチェーンに関わるすべての人が、安全で健康に、そして生き活きと働ける場にする

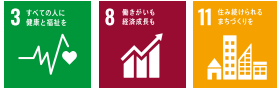
┃課題・戦略に基づく具体策／評価指標（数値目標）

┃ワーク・ライフ・バランス(働き方改革)		2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
アブセンティーズム ^{*1} スコア	単体	2.75	2.7	2.65	
プレゼンティーズム ^{*2} スコア	単体	82.4	83.6	84.9	
	単体	80.0	81.0	82.0	
社員満足度(%)	国内関係会社	64.6	66.3	68.5	
	単体	69.5	70.0	70.0	
	国内関係会社	70.9	72.6	77.1	
2017年度比残業時間削減率(%)	単体	▲14.5	▲15.0	▲15.0	人事部
	国内関係会社	▲19.3	▲21.1	▲22.9	
	単体	85.0	85.0	85.0	
新卒社員の定着率 (入社3年目) ^{*3} (%)	国内関係会社	79.9	82.8	85.4	
	単体	75.0	76.0	77.0	
	国内関係会社	74.6	76.9	78.4	
ハラスメントを 許さない風土 ^{*4} (%)	単体	63.0	64.0	65.0	
	国内関係会社	56.2	58.2	60.0	
	単体	100	100	100	
男性育児休業取得率(%)	国内関係会社	55.7	61.7	68.2	

┃ダイバーシティ

全社員に占める 女性社員比率(%)	単体	25.1	26.0	26.8	
	国内関係会社	36.0	37.0	37.1	
	単体	16.3	18.8	21.4	
女性役員比率(%)	単体	4.1	4.6	5.0	
	国内関係会社	7.8	8.6	9.4	
	単体	11.5	11.8	12.0	
女性上級管理職比率 ^{*5} (%)	国内関係会社	16.9	18.4	20.2	人事部
	単体	35.0	35.0	35.0	
	国内関係会社	37.6	40.0	40.7	
新規採用者に占める 女性比率 ^{*6} (%)	単体	48.8	49.7	50.7	
	単体	2.45	2.50	2.55	
	グループ認定	2.65	2.70	2.75	
障害者雇用率(%)	国内関係会社	2.47	2.61	2.71	

※1 心身の不調を原因とした遅刻や早退、欠勤や休職などで勤務が困難な状態 ※2 何らかの疾病や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態 ※3 4月～翌3月の新卒入社社員が3年後の4月1日に何名在籍しているかを割合で算出 ※4 社員意識調査において「まったくその通り・どちらかといえばその通り」と回答した社員の割合 ※5 管理職のうち、管理監督者を上級管理職、それ以外を一般管理職としています ※6 4月新卒入社人数に前年5月～3月の新卒入社人数を加え算出



Ⅰ人財育成		2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
社員一人当たり研修費用 (千円)	単体	140.0	150.0	160.0	人事部
	国内関係会社	59.0	59.0	59.0	
社員一人当たり研修時間 (時間)	単体	21.0	22.0	23.0	人事部
	国内関係会社	26.0	26.0	26.0	
eco検定取得率(%)	単体	73.0	76.0	80.0	サステナビリティ推進部

Ⅰ労働安全衛生						
①重大労災発生件数* (休業4日以上)(件) ②労働災害件数 (休業1日以上4日未満)(件)	国内新築・リフォーム現場(請負)	①	0	0	0	住宅事業本部
		②	20	18	16	
		計	20	18	16	
	海外住宅現場(請負)	①	0	0	0	建築・不動産事業本部
		②	0	0	0	
		計	0	0	0	
	国内グループ会社：製造 (従業員)	①	0	0	0	木材建材事業本部
		②	5	5	5	
		計	5	5	5	
	海外グループ会社：製造 (従業員・委託)	①	0	0	0	資源環境事業本部
		②	0	0	0	
		計	0	0	0	
	介護現場	①	0	0	0	生活サービス本部
		②	0	0	0	
		計	0	0	0	

※ 日本の労災分類における重大労災(休業4日以上) に相当する労災事故

重要課題7 「森」と「木」の新たな市場の創出

「森」と「木」の活用の深化と拡大によって、新たな市場を創出し、経済を豊かにする

Ⅰ課題・戦略に基づく具体策／評価指標(数値目標)

Ⅰ新たな市場の創出	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
木材コンビナートの稼働による国産材使用量(千m ³)	0	70	102	木材建材事業本部
仕入先のEPD累計取得件数(件)	55	95	145	
NbS [*] による環境・社会価値を創出する緑地件数割合(%)	35.0	37.0	40.0	住宅事業本部

※ Nature-based Solutionsの略。自然に根ざした社会課題の解決策



重要課題8 DX・イノベーションによる市場の変革

DX・イノベーションをはじめとする市場の変革を通じて、経済の効率性と付加価値を高める

Ⅰ課題・戦略に基づく具体策／評価指標(数値目標)

ⅠDX関連	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
RPA市民開発者数(名)	260	380	500	ITソリューション部
事業管理のDX化	森林管理システムの開発	機能拡張	機能拡張	資源環境事業本部
	在庫 / 施業管理システムの導入	開発開始	導入	
介護事業のセンサー機器 導入済施設数(件)	スミリンフィルケア	17	17	生活サービス本部
	スミリンケアライフ	4	4	
「JUCORE 見積」サービス [*] の成約ID件数	1,070	2,714	3,674	木材建材事業本部
サステナビリティ情報収集の効率化・精度向上	非財務情報把握、 システム化検討	パイロットテスト 実施、システム化	システム 運用開始	サステナビリティ推進部

※ 木材建材業界再編のためのプラットフォーム構築に向けた取り組み / 見積業務支援システム

重要課題9 強靱な事業体制の構築

不測の事態にも強い体制を築き、価値を提供し続けることで、経済の安定に寄与する

Ⅰ課題・戦略に基づく具体策／評価指標(数値目標)

Ⅰガバナンス / コンプライアンス / 非財務情報開示	2025年度計画	2026年度計画	2027年度計画	管理部署
BCM訓練実施回数(回)	2	2	2	総務部
法令順守体制の自主点検、研修等の啓発活動	業法の自主点検	業法の自主点検	業法の自主点検	
環境法令等遵守状況確認回数(回)(国内関係会社)	1	1	1	サステナビリティ推進部
有価証券報告書におけるSSBJ [*] 基準による情報開示	対象の把握	収集・報告手段検討	開示に向けた準備	

※ サステナビリティ基準委員会

